



東日本大震災・原発事故が発災してから、もうすぐ丸9年となります。グローバル化が各分野で進んでいる中であっても、復興について正確な情報を世界に発信するために、様々な工夫がなされてきました。

私たちは、世界コミュニティの一員としての自覚を持ち、情報や知識を共有するために必要なコミュニケーションスキルを持つことが求められています。言語や文化の違いを乗り越えることも重要ですが、大切な時間を共に過ごし、思いを共有することにより、真のコミュニケーションが図られ、相互理解が深まり、信頼関係を構築することに繋がると考えます。

伊達市国際交流協会は、そのようなコミュニケーションの機会を提供し、世界コミュニティの中で活躍し、福島の現状についても正しく発信することができる人材の育成を進めてくれると期待しています。

2020年が世界中の全ての人たちにとって、輝く年となることを心から願います。

伊達市国際交流協会の会員 募集中!

伊達市国際交流協会は、平成22年(2010年)に旧保原町国際交流協会を引き継いで発足しました。以来、平成28年度に姉妹都市提携を結んだアメリカ・リヴィア市との青少年相互派遣交流事業を行ってきたほか、市内在住の外国人を対象とした日本語教室の支援、異文化交流事業などを行っています。平成31年4月1日現在、個人会員91名、団体会員5団体が加入しています。会員を随時募集していますので、ご希望の方は国際交流協会事務局までお気軽にお問い合わせください。

●個人会員年会費 2,000円 ●団体会員年会費 10,000円



2016年 アメリカ・リヴィア市との姉妹都市提携調印式
(青少年相互派遣交流/リヴィア市役所)



◀ 2017年 リヴィア市のみなさんと交流



◀ 2019年 伊達ニティのクリスマスパーティー



2018年 英語落語会 ~RAKUGO IN ENGLISH~
(異文化交流事業/松陽中学校体育館)



日本語教室の様子 ▶
(伊達ニティ)

【編集後記】
当市の青少年派遣事業が新たな局面を迎えている。長年の相互交流先リヴィア市との継続交流を核に、新たな派遣先を模索中。立春。みなさんと共に芽を育てみごとな枝を見る、そんな年にしたい。



伊達市国際交流協会だより

令和2年2月発行

第2号

ペルー・アンデス音楽&ワークショップを開催



「アンデスの空に舞う鳥の姿が見えるようで、素晴らしい演奏だった」
「同時にいくつもの楽器を奏でるふたりは、まるで魔法使いのよう」



心に響くアンデスのケーナやサンボニーアの音色を楽しみました



伊達市国際交流員のシャネンがペルーの民族衣装を着てダンスを披露してくれました

海外の文化を五感で学ぼうと企画したワールドカフェ。

今回は令和2年1月18日(土)伊達市ふるさと会館(MDDホール)を会場として、南米ペルーの音楽家カルパンディーナ(KALLPANDINA)によるアンデス音楽とワークショップを開催しました。

カルパンディーナとは「アンデスの力」を意味するアンデス地方の先住民族の言葉です。笑顔を絶やさないホルヘさん・アントニオさんご兄弟は、数種類の楽器を同時に演奏し、歌と音で100人余りの来場者をアンデスとフォルクローレの世界に誘いました。

演奏後のワークショップで、ペルーの民族衣装披露や民族楽器の合奏体験も行われ、また全員でアンデスの音楽に合わせ輪になって踊りました。

お二人に伊達市特産あんぼ柿をお贈りすると、とても喜んでいただきました。

伊達市国際交流協会では、今後もワールドカフェとして、海外の文化に触れる機会を提供したいと考えています。



ペルー出身の兄弟デュオが奏でるアンデス音楽は、大地や風、優しく厳しい自然をイメージさせてくれます



民族楽器でのワークショップ(演奏体験やダンス)は、来場者と一緒に盛り上がりました

(国際理解活動部)

伊達市国際交流協会のロゴマーク決定



伊達市の市章の青色と世界各国との交流（握手）をイメージしてデザインされています

デザインで、伊達市の市章と同じ青色を使った、佐藤菜摘さんの作品に決定しました。

ロゴマークは今後、協会の会報等の印刷物に使用し、イメージアップに役立てたいと考えております。

去る12月13日、保原高等学校校長室において湯田会長から美術部を代表して佐藤さんに、記念品の図書券を贈呈させていただきました。

(組織強化広報部)

市民の皆様と共に新しい時代の国際交流を創出したいと願う私達伊達市国際交流協会は、協会のイメージアップと、誰からでも親しまれる協会でありたいと願い、この度、ロゴマークを決定しました。

ロゴマークの募集は、伊達市除染プラザのシンボルマークデザインや、除染仮置き場の絵画デザインなど復興活動に支援いただいた、保原高等学校美術部に呼びかけたところ、9点の応募があり、協会役員会で厳正な選考の結果、“交流”を意味する“手を繋いでいる”



湯田会長から図書券を受け取る佐藤さん
(左から2番目)

国際貢献活動部の活動を紹介します！

私達国際貢献活動部は、①日本語教室の開催運営、②外国人妊婦検診支援、の2つをメインテーマとして活動しています。

日本語教室は、伊達市在住の日本語学習を必要とする外国人に定期的に学習指導を行い、日常生活において市民と共生できる社会をめざしています。

現在、市民ボランティア（日本語サークル伊達ニティ）の活動により、梁川小学校コミュニティルームで毎週月曜日・夜7時から日本語教室を開催しています。また、年数回、イベント（いも煮会・クリスマス会・餃子パーティー・カレーパーティーなど）を行い、外国市民のみならず一日でも早く伊達市にとけ込んでもらえることを願っています。

最近、外国人の子供たち（小・中学生）が楽しそうに教室に通うようになりました。

外国人妊婦検診支援は、伊達市在住の外国人妊婦が、検診の際に通訳補助を必要とする場合、市民ボランティアが連携して支援する仕組みです。現在、対応可能な外国語は、英語・中国語・フィリピン語（タガログ語）です。通訳ボランティアが待機していますので、お気軽に活用してください。

(国際貢献活動部)

※日本語サークル伊達ニティでは、日本語教室の学習支援をしていたくボランティアを募集しています。

初心者でも、英語ができなくても大丈夫です。見学だけでも構いませんので、ぜひご連絡ください。

◆連絡先 サークルリーダー 松田 電話090-4887-7336



ヤングアメリカンズのメンバーとホームステイで交流

「ハロー、よろしくおねがいします」
何となく聞き慣れないイントネーション。
そう、会員宅にホームステイしたヤングアメリカンズのメンバーたちのあいさつだからです。
今年は、台風のため保原小学校でのショーは残念ながら中止に。

でも、メンバーたちとの交流はバッチリ！
うどん打ち体験をしてもらったり、自家製ピザ窯で手づくりのピザを焼いたり。
とても内容の濃い交流ができました。

大変じゃないかって…

いえいえ、メンバーの皆さんはとってもフレンドリー。

英語が…大丈夫、何とかなるものですよ。
さあ、来年は皆さんもホームステイをしてみましょ。国際交流が身近になりますよ。

何より、楽しい！

(国際交流活動部)



ほばらサマーフェスティバルで親睦を深めました

令和元年8月10日、保原町陣屋通りで行われた「ほばらサマーフェスティバル」に「伊達市国際交流協会」として団体参加しました。

日本語教室「伊達ニティ」の子どもたちを含め50人余が参加し、一緒に踊りました。みなさんとても楽しそうで、参加団体の中では一番盛り上がっていたように思います。

みなさん伊達市お揃いの法被を着て、踊り方はそれぞれ見よう見まねでしたが楽しく踊っていました。特に、日本語教室に参加している外国のこどもたちは「とても楽しかった」と初めての盆踊り(ボンダンス)をエンジョイしている様子でした。市内に滞在している外国人の方から「また、来年も参加したい」と言われた時は、団体として参加して良かったと思いました。

ほばらサマーフェスティバル参加は会員の親睦事業ではありますが、湯田会長はじめ会員が楽しく交流し、外国人の参加者とも一緒に踊れたことは何よりの収穫でした。

(国際理解活動部)

